

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：山本・磯田]
TEL：0853-22-6772
FAX：0853-24-3342

平成24年度 病害虫発生予察情報 技術資料第1号

平成24年11月7日
島根県病害虫防除所

QoI剤耐性イネいもち病菌の発生について

イネいもち病の防除薬剤であるストロビルリン系殺菌剤(以下、QoI剤)に対する薬剤耐性菌は、いもち病の多発生要因の一つとなります。島根県では、平成17年以降、県内各地からいもち病の罹病標本を採取し、耐性菌検定を実施してきました。

その結果、本年、県西部のほ場で初めてQoI剤の薬剤耐性菌が確認されたので、お知らせします。

記

1. QoI剤耐性菌の発生状況

巡回調査地点を中心に穂いもちが発生した23地点(1地点当たり1から5ほ場採取)の合計73ほ場から病斑を採取し、単孢子分離した73菌株(1ほ場1菌株)を耐性菌検定に供試した。その結果、調査地点のうち1か所(隣接する5ほ場内の3ほ場)で耐性菌の発生が認められた(表1)。

表1 QoI剤耐性菌の発生状況 (H24年)

調査 地点数	耐性菌 発生 地点数(率)	調査 ほ場数	耐性菌 ほ場数(率)
23	1 (4.3%)	73	3 (4.1%)

2. 防除対策

1) 薬剤耐性菌の分布は拡大する可能性があるため、発生地点ではQoI剤の使用中止及び他系統の薬剤の使用を検討する。

発生地点以外の地域でも本剤耐性菌の発生が懸念されるため、他系統の箱処理剤の使用が望ましい。

2) 耕種的な防除対策(種子更新、塩水選、種子消毒の実施)を徹底する。

3) 当該薬剤を使用して防除効果の低下が確認された場合は、他系統の薬剤による追加防除を行う。